

意見交換会開催結果概要

- 1 開催日時 平成28年11月17日（木）
- 2 時 間 開会 午後7時～ 閉会 午後8時36分
- 3 場 所 金沢学生のまち市民交流館
- 4 参加人数 20名
- 5 出席議員 福田太郎議長、高岩勝人副議長、
源野和清市民福祉常任委員長、
松井 隆市民福祉常任副委員長、
熊野盛夫市民福祉常任委員、広田美代市民福祉常任委員、
小阪栄進市民福祉常任委員、下沢広伸市民福祉常任委員、
松村理治市民福祉常任委員、田中展郎市民福祉常任委員、
高 誠総務常任委員長、
長坂星児経済環境常任委員長、
麦田 徹建設企業常任委員長、
喜多浩一文教消防常任委員長、
（オブザーバー議員）
上田雅大議員、小間井大祐議員、坂本泰広議員、
中川俊一議員、大桑初枝議員、前 誠一議員、
久保洋子議員、黒沢和規議員、山本由起子議員、
森 一敏議員、小林 誠議員、秋島 太議員、
角野恵美子議員、宮崎雅人議員、玉野 道議員、
森尾嘉昭議員、松井 純一議員
- 6 次 第 別紙のとおり
- 7 結果概要 以下のとおり

松井隆市民福祉常任副委員長の進行のもと、福田太郎議長の開会挨拶に引き続き、出席議員の紹介を行った。次に、熊野盛夫市民福祉常任委員から平成28年度金沢市議会9月定例会議会報告を行った。源野和清市民福祉常任委員長に進行をかわり、下沢広伸市民福祉常任委員から意見交換会テーマ報告として「学生のまち金沢」の報告を行った後、源野和清市民福祉委員長がワークショップのテーマについて説明した。その後、各グループにてテーマに関するワークショップ及び意見発表を行い、高岩勝人副議長の閉会挨拶で閉会した。

1. 開 会

【松井隆市民福祉常任副委員長】

皆さん、こんばんは。

定刻となりましたので、ただいまより金沢市議会意見交換会を開催いたします。

私は、本日の司会進行を務めさせていただきます市民福祉常任委員会副委員長の松井隆でございます。よろしくお願いいたします。

開会に当たりまして、金沢市議会福田太郎議長から皆様方にご挨拶申し上げます。

【福田太郎議長】

本日は、金沢市議会意見交換会にたくさんの学生さんにお集まりいただき、まことにありがとうございます。

この意見交換会ですが、平成26年度より実施しているもので、今回が今年度3回目の開催となります。

さて、本日のテーマは学生のまちということで、金沢は昔から学生の多いまちでして、学都金沢と呼ばれておりまして、この学生のまち市民交流館を中心に、学生団体が柔軟なアイデアで一生懸命取り組んでいるところです。

本日は、金沢市議会ですべてワークショップ形式での意見交換をしたいと思っておりますので、またそちらのほうでもみなさんのご意見をいただければと思っております。

実は、私もワークショップのコーディネーターの資格を持っておりまして、今から楽しみです。ぜひよろしくお願いいたします。

本日は、どうもありがとうございます。

2. 出席者の紹介

【松井隆市民福祉常任副委員長】

ありがとうございました。

ここで、今回出席している議員を紹介いたします。

まず、正副議長ですが、今ほど挨拶をいたしました福田太郎議長でございます。

【福田太郎議長】

改めまして、こんばんは。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

高岩勝人副議長でございます。

【高岩勝人副議長】

こんばんは。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

次に、今回の意見交換会を担当している市民福祉常任委員会の委員を紹介いたします。

源野和清委員長です。

【源野和清市民福祉常任委員長】

こんばんは。どうぞよろしく申し上げます。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

田中展郎委員です。

【田中展郎市民福祉常任委員】

こんばんは。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

松村理治委員です。

【松村理治市民福祉常任委員】

こんばんは。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

小阪栄進委員です。

【小阪栄進市民福祉常任委員】

こんばんは。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

下沢広伸委員です。

【下沢広伸市民福祉常任委員】

下沢です。よろしくお願いたします。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

広田美代委員です。

【広田美代市民福祉常任委員】

広田です。よろしくお願いたします。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

熊野盛夫委員です。

【熊野盛夫市民福祉常任委員】

よろしくお願いたします。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

また、市民福祉常任委員会のほか、4つの常任委員会と議会運営をつかさどる

議会運営委員会委員長も出席しておりますので、紹介させていただきます。

総務常任委員長であります高誠議員です。

【高誠総務常任委員長】

こんばんは。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

経済環境常任委員長であります長坂星児議員です。

【長坂星児経済環境常任委員長】

こんばんは。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

建設企業常任委員長であります麦田徹議員です。

【麦田徹建設企業常任委員長】

こんばんは。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

文教消防常任委員長であります喜多浩一議員です。

【喜多浩一文教消防常任委員長】

こんばんは。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

議会運営委員長であります清水邦彦議員です。

【清水邦彦議会運営委員長】

こんばんは。

【松井隆市民福祉常任副委員長】

また、今ほど紹介しました市民福祉常任委員会の委員及び各委員会委員長以外の市議会議員については、オブザーバーとして参加しておりますことを報告させていただきます。

次に、本日の意見交換会について、簡単に説明いたします。

この意見交換は、金沢市議会が主宰するものであり、本日、参加している議員と学生や市民の皆様との意見交換を通じ、金沢市への要望や意見を届けようとするものです。今回は、「学生のまち金沢」をテーマに意見交換を行います。

受付で配布いたしました資料のうち、「意見交換会」という表題の資料をご覧ください。

この後は、議会報告といたしまして、市議会の役割、仕組み等を含め、先般終了しました9月定例会議会の概要について、説明させていただきます。

次に、本日のテーマである「学生のまち金沢」について説明し、その後、ワークショップ形式により学生の皆様と意見交換を行いたいと考えております。

3. 議会からの報告

・平成28年度金沢市議会9月定例会議会報告

【松井隆市民福祉常任副委員長】

それでは、平成28年度金沢市議会 9月定例会月議会につきまして御報告いたします。なお、スライドの資料は、お手元に配付してありますので、見づらい場合は、お手元の資料を見ながらお聞きください。報告者は、市民福祉常任委員会の熊野盛夫委員です。

[熊野盛夫市民福祉常任委員が平成28年度金沢市議会 9月定例会月議会報告について別紙のとおり説明]

4. テーマ（学生のまち金沢について）に関する意見交換

・テーマ（学生のまち金沢）についての説明

【松井隆市民福祉常任副委員長】

続きまして、本日のテーマに移ります。ここからの進行は、源野委員長が行います。よろしくお願ひいたします。

【源野和清市民福祉常任委員長】

皆さん、こんばんは。テーマに関する意見交換の進行を務めさせていただきます市民福祉常任委員長の源野和清でございます。よろしくお願ひいたします。

スライドで、まず金沢の高等教育機関の状況や学生のまちに関する取り組みなどについて説明をさせていただきます。なお、スライドの資料はお手元にも配付させていただいておりますので、見づらい場合はお手元の資料を見ながらお聞きください。また、学生のまち金沢の取り組みに関する参考資料を配付しております。あわせてごらんください。説明は、市民福祉常任委員会、下沢広伸委員が行います。よろしくお願ひします。

[下沢広伸市民福祉常任委員が学生のまち金沢について別紙のとおり説明]

・テーマに対する学生との意見交換（ワークショップ）

【源野和清市民福祉常任委員長】

ありがとうございました。ここからは、ワークショップ形式により学生の皆様と意見交換を行いたいと思います。

本日は、学生のまち市民交流館とかかわりを持ちながらさまざまな活動を行っている学生団体の皆様と議員が意見交換を行いたいと思います。

まず、本日の意見交換を行うに当たりワークショップ形式により行うこととした理由やワークショップにおいて意見交換をしていただく具体的なテーマについて、まず初めに説明をさせていただきます。

[源野和清市民福祉常任委員長がワークショップのテーマについて別紙の

とおり説明]

【源野和清市民福祉常任委員長】

また、本日、ワークショップを進行するに当たり、金沢学生のまち市民交流館のコーディネーターで、皆様方御存じの株式会社ガクトラボ代表取締役、仁志出憲聖様にお手伝いをしていただきますので、御紹介させていただきます。

【仁志出憲聖金沢学生のまち市民交流館コーディネーター】

金沢学生のまち市民交流館コーディネーターの仁志出です。本日はよろしくお願いたします。(拍手)

【源野和清市民福祉常任委員長】

グループ討議を始める前に、本日のテーマに関連しまして県外の御出身で、現在、金沢市に住まいを構えられて活動されておりますお二人の参加者に金沢市に定着することになった経緯や現在の活動内容についてお一人ずつ3分程度でお話いただきたいと思います。

【参加者①】

皆さん、こんばんは。ちょっと緊張しているんですけども、よろしくお願いたします。

もりばたけという団体を立ち上げた一人として本日お声かけをいただきまして参加させていただいております。

私が金沢に来たきっかけと、なぜ残ったのかという理由について少しお話しさせていただきます。

まず、金沢に来た理由としては、学びたいことが大学にあったからというのが1番でして、もともとはまちづくりの勉強を金沢大学でして、それを地元を持って帰るつもりで金沢に来ました。出身のまちがコンビニ1軒、スーパー1軒みたいな田舎でしたので、そのまちづくりをしたい。そのために勉強できる大学はどこかということ調べて進学してきたのが金沢大学です。

しかしながら、大学の授業の中だけでは地域のことを知る機会というのは正直少ない。もっと言うと、大学があるまち、足元の地域のことを知る機会が少ないということで、自分が住んでいるまちのことを知らないのに地域のことを勉強していますということに違和感を覚えたことが一つのきっかけとなって、地域のサークルとしてもりばたけを立ち上げることになりました。

今でも学生含め30人以内くらいのメンバーで交代交代で活動して、学生も地域の人も一緒につながろうというコンセプトで活動しています。

そこからつながりがいろいろできるようになりまして、もりばたけ以外でも先ほど御紹介いただいたような雪かきボランティアですとか地域のボランティアをしていたきっかけもありまして近所の方といろいろ御縁があったものですから、そういう方たちに何か返せる仕事をしたい。また、田舎の秋田のことをもっとい

ろんな人に知ってほしい。そのためには、秋田に帰るだけじゃなくて、外から何か発信できないだろうかという考えがあって金沢に残りました。

仕事はまた全然もりばたけと関係ないことですがけれども、また自分の思いをもとに金沢で暮らしていこうと思っている次第であります。以上です。(拍手)

【源野和清市民福祉常任委員長】

ありがとうございました。

それでは次の方お願いいたします。

【参加者②】

皆さん、こんばんは。出身は新潟県新潟市から金沢学院大学のほうに進学させていただきました。

まず最初に、済みません。きょうはちょっとこんなだらしないというか作業着なんですけど、先ほどまで90キロ級のイノシシと格闘していたもので、こんな作業着でいます。

僕は今活動していることですが、去年の7月から金沢市の湯涌のほうに移住させていただきました。湯涌のほうでは、畑をさせていただいたりだとか、田んぼもお手伝いさせてもらって、農家さんからお米を買い取って、それを卸したりするような自営業を今現在行っております。

それとは別に、湯涌で移住体験とか田舎体験みたいなものを若い人たちにもっとどんどんPRしたいということで、花咲くLifeという団体を立ち上げました。これは畑でつくったものをみんなでおいしくバーベキューで食べたりだとか、地元の人たちと一緒に楽しくイベントをしたりなどのことをフェイスブックやそういうイベントとかでPRさせてもらって、田舎体験ってすごいいなというふうに思ってもらえたらと思って活動しております。

僕がなぜ金沢に残ったかということ、もともと先ほどの方ほど意識が高かったわけではなく、ただ何となく金沢のほうに来て、大学でも別に好きなことを勉強していたわけでもなかったんです。でも、先ほど紹介あった金沢まちづくり学生会議のほうに参加させていただいて、4期のときに代表をさせていただきました。そのときに地域の方であったり市役所の方であったり先輩方にたくさんお世話になって、そういう人との交流がすごい自分にとって大事なものを経験させてもらって、それが蓄積されて今の自分があるんだなというふうに今現在思って、それを今度の後輩たちや金沢に恩返しができたらなと思って、そのままこちらのほうに残らせていただきました。

今後も中山間地域でたくさんの課題があると思いますけど、それを若い力できょうにか解決しようと頑張るので、よろしく申し上げます。(拍手)

【源野和清市民福祉常任委員長】

本当にありがとうございました。

それでは、グループ討議を始めたいと思います。

グループ討議の様子は、始まってから10分、15分ぐらいしましてからスクリーンでも皆さんに見えるように共有したいと思いますので、しばらくの間、最初の10分、15分はお待ちください。その間、お手元にある資料等を見ながらよろしくお願いいたします。

それでは、市民福祉常任委員会の委員の皆様は、各テーブルのほうにお願いいたします。移動をよろしくお願いいたします。

[源野和清市民福祉常任委員長を除く市民福祉常任委員が各グループの座席へ移動]

【源野和清市民福祉常任委員長】

そうしましたら、ここから先、時間をはかりながら行っていきますので、進行のほうは仁志出コーディネーターにお任せいたします。お願いします。

【仁志出憲聖金沢学生のまち市民交流館コーディネーター】

ここから私がファシリテーターとして進行のほうを45分ほど源野委員長と一緒にさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。(拍手)

それではここからですが、先ほどは一方的に情報をインプットする時間だったかなというふうには思うんですけども、今回、議員の方と市民の方の意見交換としては、こういった場では初めてワークショップ形式で双方向に意見交換をしながら、そこから新しいアイデアだったり、実際に学生さんって本当は何を考えているのかというのを議員さんに知っていただいたり、逆に学生さんのほうから議員の方々に金沢の今の状況って実際どうなんですかというような話も聞けるような、そういったちょっと楽しい、リラックスした時間にできればいいなと思っております。

それでは早速、本日の流れのほうを御説明させていただきます。テーマのほうなんですけども、先ほど源野さんのほうから御紹介にもありましたように、この金沢に学生さんたちが今後どうしていけば残っていくのかと。金沢をどうすれば選んでもらえるのかというのが今回のテーマになっています。ですが、簡単に考えると、先ほどのお話を聞いてわかっていただけたように、いかに学生さんが金沢を好きになって、かつ、その後に好きで、かつ残っていけるような仕組みをどうすれば金沢市としてつくれるのかというのをここから考えていければと思っております。

では、きょうの流れですけども、初めに、皆さん初めて会った方もいると思いますので、グループ内で自己紹介をしてもらいます。自己紹介をしていただいた後にワークショップ形式で意見交換を行い、その後に最後、グループごとで皆さんのほうにグループから各1案といいますかアイデアのほうをそれぞれ全体に発表していただきたいと思っております。

それでは早速ですけれども、自己紹介のほうをグループ内で行っていただきたいと思います。

自己紹介、ルールのほうですけれども、今回時間の関係もありまして済みません。45分ほどになっていますので、名前と所属と、例えば大学、団体、そして出身地、今何を感じているかというのを簡単に御共有いただければと思います。

済みません。終わったのがわかりたいので、これ、皆さん、多分ありますかね。ポストイットが。自己紹介している方、これを持ちながら自己紹介していただいてもいいですか。次の方に回して行って、終わりましたらここへ置いていただけたら、この班は終わったんだなと私のほうでわかりますので、ポストイットを持ちながらお願いします。

済みません。そうしましたら、例として私の自己紹介、1分間でさせていただきます。私、仁志出憲聖と申します。金沢生まれ、金沢育ちで、現在この金沢学生のまち市民交流館でコーディネーターとして、昨年度は年間約500件ほど学生さんの相談等を受けておりました。そしてもう一方で、金沢で二水高校だったんですけれども、その後、大学に入り、機械系だったんですが、その当時、学生がもっとチャレンジできる環境を金沢につくれないかということでサークルを立ち上げ、卒業と同時にそのまま起業し、今は株式会社ガクトラボという会社を運営しております。きょうは、初のワークショップ形式ということで、半分どきどき、半分わくわくというふうに思っていますので、皆さん、御協力いただけるとうれしいなと思っています。よろしく願いいたします。(拍手)

というような形で、お願いいたします。それでは、今から各グループで、どなたからでもいいので順番に自己紹介していただければと思います。それでは、今から5分間、はからせていただきますので、どうぞよろしくをお願いします。

[各グループにて自己紹介]

【仁志出憲聖金沢学生のまち市民交流館コーディネーター】

それでは、皆さん終わったようなので、ありがとうございます。少し名刺交換をしている様子も見られて。

きょうはちなみに参加者のほうは学生団体が十三、四団体ほどから参加もしていただいて、それとたくさんの議員さんというこういったメンバーになっております。

それでは早速、ワークショップのほうに移りたいと思います。

ちなみに、ワークショップに参加したことがあるよという方、手を挙げていただいてもよろしいですか。もしよければ後ろの方々も。——結構皆さん、大丈夫そうですね。ありがとうございます。

進め方のほうもしっかり説明をさせていただきますので、もう知っているよと

いう方もいま一度勉強かなと思って見ていただければと思います。

それではまずワークショップ1つ目、テーマのほうは、まず実際、学生さんが本音のところでは金沢に卒業後残りたいのか、残りにたくないのかというのを、大人の議員さんは学生さんはこうじゃないかというふう知っている情報を予想していただいて、学生さんは実際に自分が持っている情報、先輩の情報、後輩の情報をぜひ書いていただければと思います。

なので、1個目のワークショップのテーマは、金沢に残りたい理由、残りにたくない理由、残らない理由、残れない理由もあるかと思いますが書いていただければと思います。進め方としては、まず一人一人3分間、まずアイデアを出す時間。理由を書く時間をとります。この3分間とらせていただいて、その後にグループ内で共有する時間を、少し短いですが7分間とらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

そうしましたら、まず1つだけルールを説明させてください。アイデア出しの方法、ブレインストーミングというんですけれども、四原則と言われるものがありまして、これはぜひ今回必ず守っていただきたいと思います。

まず1つ目が、質ではなくて量をとにかくたくさん出してください。何でもいいのでたくさん、どんなアイデアでもいいので出してください。

2つ目は、自由奔放に書いてください。なので、これちょっと突飛なアイデアかなというようなものもどんどんたくさん書いてもらえるといいワークショップになると思います。なので、ちょっと変だなというアイデアも排除しないように、できれば全部書いてもらえればと思います。

3つ目に、批判厳禁ということで、やっぱりやっていると、いや、それ違うよとか、ちょっとそれはどうなのかなと、いや、これはこうこうだから今回は必要ないんじゃないかと、批判だけではなく批評してしまうということもありますので、今回はそれはなしで、済みませんがお願いします。

そして最後に、結合改善というふうにかかれていくんですけれども、人が出したアイデアを見て、これいいねと。それに乗かって自分も、じゃ、自分はこういうアイデアあるよということで結合、乗かって、人のアイデアにどんどん乗かっていただいて、アイデアを発散させていただく、そういう時間にできればなと思っております。

この4つ、ぜひいつも使えると思いますので、よれしければまた覚えていただければと思います。

では、これから個人ワークのほうに移りたいと思います。例えば書き方ですけども、念のため御説明させていただきますと、お手元にあるポストイットと、あとプロッキーがありますか。配っていただいて、プロッキーに、ここに2つを書くのではなくて、プロッキーでここに1つ大きく理由を、金沢に残りたい理由、例えば最近、カニが解禁して、御飯がやっぱりおいしいからとか、そういうよう

なことを1つ書いていただいて、どんどんどんポストイットを使っていただければと思います。

それでは皆さん、プロッキーとポストイットを手にとってもらってもよろしいでしょうか。準備のほうをお願いします。

では、準備のほうはよろしいでしょうか。プロッキーを右手に持って、左にポストイットを目の前においていただければと思います。

それでは、今から約3分間はからせていただきますので、金沢に残りたい理由、残りにたくない、残れない理由を、両方書いていただければと思います。それでは、3分はかります。お願いします。

[各グループにて意見交換]

【仁志出憲聖金沢学生のまち市民交流館コーディネーター】

では、一度前のほうを見ていただければと思うんですけども、今、書いた附箋を一つ一つ読み上げながら共有する時間にしてもらえればと思います。

例えば、食べ物がおいしいといいながら張って、交通の便がでも悪いというのを出して、共有する時間にいただければと思います。その際に、何か思いついたことがあれば、下にある模造紙にどんどんプロッキーでこんなふうに好き勝手書いてもらって大丈夫なので、いや、ちょっと交通の便というのが多いねとなったら、そこをグルーピングしてあげたりだとか、自由に下の模造紙とポストイット、そしてプロッキーの3つを使っていただければと思います。

それでは、今から5分間はからせていただきますので、読み上げて共有するだけでも5分間たってしまうかとは思いますが、少し早目ではありますが5分間、今からはからせていただきますので、どうぞよろしくをお願いします。

ちなみに質問ある方はありますか。大丈夫ですか。進み方は。——ありがとうございます。それでは、5分間図らせていただきます。よろしくをお願いします。

[各グループにて意見交換]

【仁志出憲聖金沢学生のまち市民交流館コーディネーター】

それでは、次に進めさせていただきます。

今、1つ目のワークショップのテーマとして、卒業後に金沢に残りたい理由、残らない理由、結構リアルなところがいろいろと聞こえてきたなど。例えるとそれこそ普通に御飯がおいしいというのは出るだろうなと思っていましたけれども、恋人がいるからとか、いろんな意見も見えたなというのは少しおもしろいなと思いました。また後ほどこれは共有させていただきますので、早速ですが次に進めさせていただきます。

では、今残りたい理由、残りたくない理由というのを共有したところで、それを踏まえて残りたい理由をより伸ばすのもありますし、残りたくない理由を何とか改善する方法というのでもいいかと思います。卒業後に、学生が金沢に残りたくなる、金沢が好きで、かつ、その後も残りたくなるようなアイデアを出す時間にできればなと思います。

先ほどと同様に、まず個人ワークの時間を3分間とらせていただいて、その後、グループ共有を7分、そして今回はこの後に各グループごとに発表していただきますので、発表するということも少し意識していただきながら、その後の発表の準備の時間も少しだけとらせていただければと思います。

そうしましたら、繰り返しになりますが、ルールは4つ。質より量、自由奔放、批判厳禁、結合改善ということで、今から金沢に残りたくなるようなアイデアを3分間で出していただければと思いますので、それでは3分図らせていただきます。よろしくお願いします。

[各グループにて意見交換]

【仁志出憲聖金沢学生のまち市民交流館コーディネーター】

それでは、先ほどと同様にまたグループで共有していただければと思うんですけども、模造紙、実は2枚重ねてありますので、上の1枚を取っていただいてもう一つの模造紙を使っていただければと思います。

それでは、準備のほうもできたようなので、ここから約7分とらせていただきます。また先ほどと同様に、グループ内で共有のほうをしていただければと思います。それでは、7分間はからさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

[各グループにて意見交換]

【仁志出憲聖金沢学生のまち市民交流館コーディネーター】

それでは、まだ途中だと思うんですが、一旦ちょっと聞いていただいてもよろしいですか。今、7分たちましたので、済みません、一度聞いていただければと思います。

そろそろ周りの方もかなりワークショップも盛り上がってきて、何を話しているのか気になっているころかなというふうに思いますので、今から5分間とります。今からプラス5分間とりますので、各グループ、3分間で発表できるように5分間で準備してもらえればと思います。今話した内容を共有していただくという時間なので、引き続き議論のほうを進めてもらってもいいですし、少しまとめに入ってもいいかなとは思いますが、誰がしゃべるのかをそれまでに決め

ていただければと思います。

そうしましたら、御質問ある方いますでしょうか。大丈夫ですか。——それでは、今から5分間はかりますので、5分後からきっかり発表を始めるので、結構初めと違って盛り上がってきたかなとは思いますが、済みません。時間もありますので切らせていただきますので、あと5分で準備のほうをよろしく願います。それではどうぞ。

[各グループにて意見交換]

【仁志出憲聖金沢学生のまち市民交流館コーディネーター】

それでは皆さん、時間になりました。これからいよいよ発表の時間に移ればなと思います。

残り時間も少なくなってきましたので、1番から順番に発表をしてもらえればと思います。発表する際に模造紙を2人くらいちょっと手伝いいただいて、模造紙をここに持ってきていただいて、前のほうに出て発表のほうをしていただきたいと思います。

では、1番の方、準備のほうをお願いします。

【1班】

自分たちの班は、交通系と人とのつながり、企業ということで、この3つのテーマで発表させていただきます。

1つ目の交通系なんですけど、とにかくバスの料金が安いということで、なかなかまちまで来れないということが一つ挙げられました。それを解決するようなものとして、例えば学生は無料にさせていただいて、北鉄さんの就職機会をふやすような何かとか、北鉄さんの何か手伝いをできるような何かをすることで学生は無料だけど学生も、こういった学生団体とかもボランティアで無料で何かやっている団体とかよくあるので、そういったことで北鉄さんに対して何かメリットがあるような活動をさせていただいて、バスも無料にさせていただけるようなことは可能じゃないかなと考えました。

それでは次に、企業についてなんですけど、学生が金沢に余り残りたくないという理由で、意見としては金沢に企業が少なくて、あと金沢の企業を知らないとか、そういうことがあったので、まずは意見として出たのは企業を誘致したり、全国的な企業さんと協力して説明会を開く。金沢にどういう企業があるんだよというのを知名度を広げていったらいいかなと思います。あとは長期インターンを金沢で行ったりして、インターンをする上で金沢の魅力を知ってもらったり、その企業に興味を持ってもらって、全国に金沢にはこういう珍しい企業があるんだよとか、いい企業あるよということをアピールしていけば、金沢に残る人もふえ

るんじゃないかなというふうに思います。

最後に、人づくりについてです。人づくりについては、人との交流の場や機会をふやすというのと、金沢の出身の人と仲よくするというのや、それにつながって石川の人との恋活ができました。私は個人的にこれが一番やりたいです。なんですけれども、ほかにも社会人とかかわるなど、また大学生が外に出る機会がないならおもしろい社会人が学校に行くような機会をつくれればいいんじゃないかというのや、例えばただの交流だけではなく、もっと金沢の人を知れる仕組みづくりなどができたらいいんじゃないかという話が出ました。このグループは以上になります。ありがとうございました。(拍手)

【仁志出憲聖金沢学生のまち市民交流館コーディネーター】

ありがとうございました。

そうしましたら、2班の方、同じように前に出ていただいて、よろしく願いいたします。

【2班】

こちらのグループでは、主に4つの方法を考えました。1つは交通、それから住みやすさ、企業、そして謎のハートマークがありますが、これは後で言います。

交通に関してですけど、やっぱり余り便利さを感じないということで、特にバスであったり電車であったり、こういったものが不便ということで、地下鉄が欲しいというアイデアもありましたし、それからやっぱり車社会なのでまちなかであったりそういったところの駐車場代を安くすることができれば便利になるかなという感じです。あとそれから飛行機に関しての案も出ました。近くに小松空港がありますけど、やっぱり値段的なものや便利さでいうと大阪まで行って別の場所に飛んだりとかそういうことがあるので、使いやすくできれば利用者も上がるのではないかなという案が出ました。

それから、住みやすさについてですが、まちなかになかなか住める場所がない。特に若い人たちが住むとなってくると就職したての1年目の若い方々が住むとなるとやっぱり安い場所、手軽に住める場所、気軽に住めるそういった場所を求めているので、そういう場所をふやすことや、若い人に向けたそういう環境を整えたらいいのではという案がありました。

それから、企業に関してですけど、石川県には結構ニッチトップ企業、メーカー系のそういった企業はたくさんあります。そういったところをPRすると同時に、逆にこういう理系の企業は結構あるんですけど、なかなか文系の企業というものとなってくると余りないよねというそういうことで、文系の商社であったりそういったものを大企業だったらなおいいんですけど、そういったものを誘致できれば、そこへ文系の学生が残ってくれるんじゃないかという話になりました。

それから最後の謎のハートマークなんですが、これは恋をしちゃえというそういうすごいアイデアです。やっぱり恋愛をして、もうここに永久就職をしちゃうみたいな、そんな感じの話です。嫁ターンですね、今はやりの。アフター5を充実させることによってそういったことができるんじゃないかという。というわけで、皆さん、恋をしましょう。以上です。(拍手)

【仁志出憲聖金沢学生のまち市民交流館コーディネーター】

2班の皆さん、ありがとうございました。

そうしましたら、3班の皆さん、準備のほうをお願いします。

今のところ2つとも交通や住まいも出ましたけれども、やっぱり恋も両方とも出てきたなというのは、やはり人の人生にかかわってくる部分かなという思いもあります。

【3班】

3班です。

私の主張を軸に、ここで出た案を話させていただきたいなと思います。

僕個人としては、人とのつながりをすごい重視したいなって思いました。人とのつながりを重視する中で出た案としては、いろんな世代のどのつながりをつくるという機会をもっとふやせればいいかなというふうに考えました。具体的な案としては、金大祭であったりとか地域のお祭りで社会人が金大祭に来たりとか、地域のお祭りに学生のサークルが行ったりとか、またOBとのかかわりをもっとサークル内でふやしたりしたらいいんじゃないかなというふうに出ました。そういった手段を使って人とのつながりをふやすことで、例えば情報共有をもっとできるんじゃないかなと思いました。以前、ごみ出しのルールがわからなかったという案があったりとか、住まいをもっと安い住まいに住みたいとかという案があったんですけど、そういったところで情報共有ができれば、この家貸してあげるよとか、もしかしたらなったらおもしろいかなって思いました。

また、起業しやすくするとか、労働をもっとしやすくするという意味でも、地域の方々とかかわり合うことで今まで知らなかった企業をもっと知れたらいいんじゃないかなというふうに考えました。

また、交通問題も出まして、やっぱり交通手段が悪いとか料金が高いという案も出たんですけど、そういったところにアプローチすることで仕事にも行きやすくなったりして就職にも結びつくんじゃないかなというふうに考えました。

また、遊べる場所がないという案も出たんですけど、こちらも今回、人とのつながりを使うことで、やっぱり遊ぶ場所がないじゃなくて知らないだけだと思うんですよね。やっぱり地域の人とかかわり合うことで、全然知らなかった、でも物すごいおもしろい場所というのをもっと知ってもらえたらなというふう

思いました。以上です。ありがとうございました。(拍手)

【仁志出憲聖金沢学生のまち市民交流館コーディネーター】

3班の皆さん、ありがとうございました。

それでは、4班の方、準備のほうをよろしくお願いいたします。

【4班】

4班です。お願いします。

まず、4班でこの石川、金沢に残らない理由というのでまず最初に出たのが、交通のところで、何か私の友達とかでもイベントは多分金沢はめちゃくちゃあるし、いいところもあるし、楽しいところもめっちゃあるんですけど、行かないんですよ。行けないというか、おもしろそうだなと思っても、やっぱり高かったり、時間かかるから行かないという友達がいる、やっぱりそういうところが問題かなと思っていて、やっぱりそういうところから交流とかが生まれて、好きな人がいるとか、何か仕事とか、こういう活動、こういう交流会とかもどんどん参加したら絶対おもしろいところが見つかると思うので、まずそういうところが問題だなというのは思いました。御飯がおいしいとか、過ごしやすいや、やっぱり楽しいものはたくさんあるので、伝わってないというのがまず問題だなというのは感じました。

どうしていったらいいかということを出していたんですけど、このグループでは一番仕事の部分が、中小企業がもっと元気になればとか、あと最低賃金を上げたりとか、あと新しい仕事をどんどんつくっていったら、やっぱり大学卒業するときどうしても仕事というので金沢を離れるという人が多いなと思うので、ここはもっと仕事をふやす。今ある仕事を企業を盛り上げる、これが一番大事じゃないかという意見が多かったです。

こういうつきたい仕事を見つけるためにも人との交流をふやしていきたいということで、交流ができる場所をふやしたりとか、学生会でそういう情報共有ができるものをふやしていったりということが、行きたい企業を見つけるということにもつながるんじゃないかなという意見が出ました。

あとは、生活をしていく上でいろいろと経済的に生活しやすかったり、保育所の充実をしたほうがいいんじゃないかという意見があったり、先ほどのグループでもあった娯楽施設が少ないというのをもっと改善してほしいという意見もありました。

あとは、中山間地域をもっと元気にしたら住んでくれるんじゃないかという、今ある魅力的なものがまだまだ見つけられてない学生さんが多いと思うので、そういったところを例えば郷土料理とかあると思うんですけど、そういうものを学生にとっては敷居が高いようになっているので、そういうものを学生が手に取り

やすい価格、食べられるような価格で提供したりとか。

あと、交通というのがかなりいっぱい意見が出ていて、やっぱりバスの値段が高いとか、あとは金沢市と別の地域との距離を縮めるという意味で交通の便をよくという、もっと値段も安くなればいいなという意見もありました。こんな感じですよ。以上です。(拍手)

【源野和清市民福祉常任委員長】

皆様、本当にありがとうございました。

各テーブルから本当に率直な意見を出していただきまして、本当によくわかりました。市議会議員としまして、皆さんの意見、参考にさせていただきました。

特に皆さんの意見で多かったのは交通関係ですね。本当に皆さんの思いは伝わってまいりました。こちらのほうは総務常任委員長のほうにもしっかりときょう見ていただきましたので、また所管に持っていただいて議論をしていただきたいなというふうに思っております。

また、企業の誘致、また企業政策等がございました。そして同時に、労働、仕事のお話もたくさんテーマが出ました。この宿題につきましては、ぜひ経済環境常任委員長のほうにお持ち帰りいただいて、またしっかりと議論していただきたいなと思っております。

また、住まい、特に空き家のお話等も出ました。これは恐らく建設企業常任委員会なのかなと思いますが、またこんなテーマがあったということで、ぜひまた委員会の中で議論をしていただければと思います。

本当に今回、正直私、常任委員長として初めてのワークショップという形で金沢市議会として学生の皆さんと意見交換会をさせていただきました。行く前は非常に心配もいっぱいあったんですが、本日の皆さんの本当に前向きで、そして温かい思いで、私たち議員と一緒に意見をしていただく姿に非常に私たちも元気が出ました。本当に一緒にテーブルに座っていただいた学生の皆さんには感謝申し上げます。

また、こういった機会を使いながら、皆さんとともに金沢のまちをより元気にできればと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。(拍手)

5. 閉 会

【源野和清市民福祉常任委員長】

では、最後になりますが、閉会に当たりまして金沢市議会高岩勝人副議長からお礼の御挨拶を申し上げます。

【高岩勝人副議長】

学生の皆さん、きょうはようこそ参加をしていただきました。

何よりも仁志出君、腕上げたなと思って、時間もぴったり 8時半ということで、まるで俺の話が延長しとるみたいになってしまいましたけれども。とにかく皆さんからいただいた御意見、交通政策とか、あと働きたい魅力のある企業、実は金沢にたくさんあるんです。魅力のある企業というのは。世界に誇れる企業というものたくさんあるんですが、なかなかそういうのというのは皆さんのところへ届いてないというのも実情でありますので、こんな会社なら働きたいなというところなんかも我々のほうでもっともっと企業側と連携しながらアピールしていくということも大切かなというふうに、新たに皆さんと気づきをさせていただきました。

何よりも若い人たちが元気ということは未来を感じますので、これからも皆さんとともにこの金沢をよりよいものにしていきたいと思いますが、最後に、せっかくきょう皆さん、初めて出会った人たちもたくさんいると思いますので、何事も御縁というのがとても大事ですから、この後は第2ラウンドをお酒の席でやっていただきたいなと。この後も皆さん、忌憚のない御意見を委員会メンバーに言っていただけたらと思います。本日はどうもありがとうございました。(拍手)

【松井隆市民福祉常任副委員長】

それでは、これで意見交換会を終了させていただきたいと思います。

本日はお忙しい中御参加いただき、本当にありがとうございました。

なお、次回以降の意見交換会ですが、来週の22日に火曜日の午後7時から玉川こども図書館におきまして「金沢らしい都心軸の形成を目指して」をテーマにし、建設企業常任委員会による意見交換会の開催を予定しておりますので、またそちらのほうにも足を運んでいただければなというふうに思っております。

また、12月の定例会議会以降にも意見交換会の開催を予定しておりますので、詳細が決まりましたら市議会ホームページでお知らせいたしますので、お越しただければ幸いです。

きょうは本当に遅くまで活発な御意見を出していただき、それをまた議会の中で参考にさせていただきたいと思います。

きょうは本当にありがとうございました。(拍手)

以 上